

# 令和２年度 第２回 防府市地域公共交通活性化協議会 議事録（要旨）

## ■開催日時・場所

令和２年 11 月 11 日（水）午後２時から午後４時まで  
防府市役所 議会棟３階全員協議会室

## ■次第

- １．開会
- ２．挨拶
- ３．議事

### （１）協議事項

- ア 地域の実情に応じた公共交通サービスの検討について
- イ デマンドタクシーの運行について

### （２）その他

## ■配付資料

|   | 資料名                                  |
|---|--------------------------------------|
| １ | 令和２年度第２回防府市地域公共交通活性化協議会 次第           |
| ２ | 資料１ 防府市の公共交通                         |
| ３ | 資料２－１ 地域の実情に応じた公共交通サービスの検討について（富海地域） |
| ４ | 資料２－２ とのみ福祉号の運行実績について                |
| ５ | 資料３－１ デマンドタクシーの運行について                |
| ６ | 資料３－２ 運行計画変更後のデマンドタクシーの運行について        |

■出席者名簿 敬称略・順不同

|     | 区分              | 所属団体・役職                                        | 名前                   | 出欠       |
|-----|-----------------|------------------------------------------------|----------------------|----------|
| 委員  | 学識経験者           | 徳山工業高等専門学校 土木建築工学科教授                           | 古田 健一                | 出席       |
|     |                 | 徳山工業高等専門学校 土木建築工学科准教授                          | 目山 直樹                | 欠席       |
|     | 地域公共交通<br>の利用者等 | 防府市自治会連合会 総務                                   | 内田 元夫                | 出席       |
|     |                 | 防府市女性団体連絡協議会 会長                                | 大村 弘子                | 欠席       |
|     |                 | 防府市老人クラブ連合会 理事                                 | 湯原 温茂                | 出席       |
|     |                 | 防府市障害福祉団体連合会 会長                                | 中村 信也                | 出席       |
|     |                 | 防府商工会議所 交通運輸部会 副部会長                            | 馬場 龍美                | 出席       |
|     |                 | (一社)防府医師会 副会長                                  | 木村 正統                | 欠席       |
|     |                 | 市民代表                                           | 田邊 千寿子               | 欠席       |
|     |                 | 市民代表                                           | 清水 重子                | 欠席       |
|     | 公共交通<br>事業者等    | 防長交通(株) 取締役副社長                                 | 斎田 稔                 | 出席       |
|     |                 | 中国ジェイアールバス(株)<br>運輸部生活交通活性化推進室長                | 河内 政好                | 出席       |
|     |                 | 西日本旅客鉄道(株)山口支社 防府駅長                            | 池永 一民                | 出席       |
|     |                 | 山口県タクシー協会防府地区事業者<br>湯田都タクシー(株) 取締役統括部長         | 重舩 伸                 | 出席       |
|     |                 | (有)野島海運 取締役                                    | 阿部 幸典                | 出席       |
|     |                 | (公社)山口県バス協会 専務理事                               | 藤原 徳行                | 出席       |
|     |                 | (一社)山口県タクシー協会 理事                               | 大隅 洋三                | 欠席       |
|     |                 | 山口県交通運輸産業労働組合協議会<br>(私鉄中国地方労働組合防長交通支部防府分会 分会長) | 武居 雅則                | 出席       |
|     | 道路管理者<br>港湾管理者  | 中国地方整備局山口河川国道事務所<br>交通対策課長                     | 河上 伸一<br>(代理：吉延 広枝)  | 代理<br>出席 |
|     |                 | 山口県防府土木建築事務所 維持管理第一課長                          | 牧 浩一郎                | 出席       |
|     |                 | 山口県防府港務所 主査                                    | 藤井 健二                | 出席       |
|     | 警察              | 防府警察署 交通課長                                     | 胡 和裕<br>(代理：藤野 克也)   | 代理<br>出席 |
|     | 関係機関            | 中国運輸局山口運輸支局 首席運輸企画専門官                          | 秋本 由美                | 出席       |
|     |                 | 山口県観光スポーツ文化部 交通政策課長                            | 伊藤 香緒利<br>(代理：梅本 保則) | 代理<br>出席 |
|     | 計画作成市           | 防府市 総合政策部長                                     | 小野 浩誠                | 出席       |
| 事務局 |                 | 総合政策部 部次長                                      | 杉江 純一                |          |
|     |                 | 総合政策部政策推進課 課長                                  | 松田 伸一                |          |
|     |                 | 総合政策部政策推進課 課長補佐                                | 大村 雅俊                |          |
|     |                 | 総合政策部政策推進課交通政策係 係長                             | 岸本 理志                |          |
|     |                 | 総合政策部政策推進課交通政策係 主任                             | 有東 佑索                |          |
|     |                 | 総合政策部政策推進課交通政策係 主任                             | 坂井 貴                 |          |

## ■議事録

### 1. 開 会

---

### 2. 挨 拶

---

会長あいさつ

### 3. 議 事

---

会長から会議の公開について確認後、議事を進行。

#### (1) ア 地域の実情に応じた公共交通サービスの検討について

---

事務局から資料1、資料2-1、資料2-2を説明。

A委員      とのみ福祉号の利用者のうち、障害者はどの程度いるか。

事務局      利用人数しか把握しておらず、わかりかねる。

B委員      パークアンドライドという仕組みを使って、鉄道の利用を促進する取組を提案する。富海駅は北側に水田があり、周辺に無料の大きい駐車場を作るための十分なスペースがある。実施にあたっては、鉄道事業者にのみ任せるということではなく、防府市として、公共交通をいかに使っていくかということを考える必要がある。また、市中心部の駐車場の料金は、多少高く設定してもよい。渋滞とまではいかないが、いたるところで道路は混雑している。その解消のためには、道路を拡幅するだけでなく、公共交通を使うインセンティブを高めるということも考える必要がある。

また、高齢者等バス・タクシー運賃助成制度は、見直さないといけないと思う。現行の制度は、70歳以上で運転免許がない方に一律に助成を行っているが、バス路線がない地域の住民が、現行の要件にあてはまらない場合に、タクシーの運賃助成を受給できないというのはおかしい。

介護保険の要支援者に対してもバスやタクシーの運賃助成制度がない。年齢や運転免許の有無という一律の要件だけではなく、福祉の視点を入れて制度を見直さないといけないと思う。公共交通、福祉のそれぞれの立場で助成の在り方を考えて、これは福祉政策で、これは交通政策で実施しようと考えていかないといけない。

「防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」の策定にあたって、公共交通が不便だという意見や、買い物のための移動に苦労しているという意見が多かった。この2つは取り組む必要がある。いわゆる縦割り行政で、「他の課が実施しています」というようになってしまいが、公共交通も含めて、市民にどのように移動してもらうかということは、総合的に考える必要がある。

副会長      パークアンドライドという仕組みは人口が集積しており、鉄道の運行本数が多い地域に当てはまる仕組みだと考えている。今の山陽本線の運行本数で、通勤時間帯にパークアンドライドを適用できるか検討する必要がある。鉄道事業者だけではなく、市も共同して検討したいと思う。

会 長      資料2-1のP9の上段、「日常生活での移動手段」を問う設問で、各公共交通機関を利用する人の割合はわかるが、公共交通全体を利用する人の割合を教えてほしい。

事務局　本設問は、複数回答も可としたもの。改めて集計すれば算出できるが、この場ではわかりかねる。

#### (1) イ デマンドタクシーの運行について

---

事務局から資料3-1、資料3-2を説明。

B委員　切畑デマンドタクシーについて、令和2年に入ってから新型コロナウイルスの影響で大きく減少している。具体的にどの乗降場所を利用する方が減っているのか。

事務局　乗降場所ごとで特出したものはなく、全体的に減少した。また、新型コロナウイルスに関係なく、例年、冬季は利用者が減る傾向にあり、併せて大きく減少しているように見える。

A委員　上代地区の登録者が26人、実利用者が4人という現状を考えると、仮にタクシーの無料券等を配るとすれば、財政負担はどちらが大きいのか。

事務局　詳細に試算したわけではないが、デマンドタクシーは、運行区間を定め、利用者により乗っていただく制度であり、事前予約制で予約がない場合は、運行しないため、デマンドタクシーのほうが、財政負担は少ないと考える。

#### ◎協議結果

来年度の切畑デマンドタクシー及び玉祖デマンドタクシーの運行については、今年度と同様に実施することとする。

#### (2) その他

---

～バス停留所の安全性確保対策についての情報提供～

山口運輸支局　平成30年8月に横浜市で、バスが死角になったことが原因で発生した、小学生の死亡事故があった。その事故を受け、国土交通省から各地方運輸局へ指示があり、警察、道路管理者、バス事業者等の関係者の協力のもと、運輸支局ごとにバス停留所の安全確保対策を進めている。

山口県内では、今年8月24日から、関係機関で取組の進め方を協議し、バス事業者が抽出した安全対策が必要と思われるバス停留所のリストを共有した。10月から11月下旬にかけて、現地調査を行い、12月末までにリストの公表を行う予定としている。

B委員　私自身、主に国道2号沿いのバス停から防府駅に向かうバスに月に2回ほど乗っている。そのときに思うのは、特に遠ヶ崎バス停、佐波川橋バス停は、歩道と車道のつなぎ目に、膝ぐらいの高さの草が生えており、乗降の際に不自由を感じる。地域で草刈りをしようにも、車の通行量が多いところは危険が多い。道路管理者に環境整備をお願いしたい。

また、バスの乗降時、歩道の高さと、路線バスの乗り口の高さが合うようになっているが、稀に歩道と50cm程度離れたところに停車してしまい、一度車道に降りて、また乗り口に上がらないといけない状態になる。草が生えており、バスが歩道に寄せづらい状態であったり、バス停がカーブのすぐ先にあるなどで、運転士が乗客を確認してから、停車するまでの距離が短いことなどがあると思う。ただこれは、バス事業者だけの責任とは思わない。それぞれの機関が、実行可能な範囲で対応していかないとはいえないと思う。

また、バスの降車時、運賃の割引計算など、運転士に負担がかかりすぎていると思う。市も含めて、高齢者等バス・タクシー運賃助成券をバスカードの購入助成に切り替えるなどの対策を行い、運転士の業務を簡素化し、負担を減らすことで、より安全面、サービス面に気を配れる運行ができるのではないかと。

～新型コロナウイルス感染拡大における乗客の状況と感染防止策～

バス事業者A 5月は、乗客が半分程度まで落ち込んだ。その後徐々に戻ってきてはいるが、20%程度減少したままとなっている。病院へ接続しているバスの利用者は明らかに減っているが、病院関係者からは、来院者は大きく減っていないと聞く。つまり、バスで病院に行っていた方は、送迎してもらするなど、自家用車で移動に代わっていると思われる。

また、以前は、自転車通学をしている学生が、雨天時はバスを利用するというケースがよくあったが、最近では、保護者が送迎することが多い。20%減少した乗客がいつ戻ってくるか見通しが立たない状況である。

バス事業者B 弊社は高速、貸切バスが収入の70%を占めていて、ともに5月はほぼ稼働していないため、収入は5月が一番落ち込んだ。路線バスにおいても、5月が一番乗客が少なく、その後徐々に戻ってきてはいるが、通勤、通学利用の乗客が戻ってきていない。9月は対前年比で乗客が20%程度減少した。

感染防止対策としては、日本バス協会が定めている「バスにおける新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に従って対策を実施している。基本的には、職員の体調管理、消毒液の設置などを行い、車両は抗ウイルス除菌加工を行っている。11月4日に広島県庁において、路線バスと貸切バスの車内にスモークを焚き、換気の状態を調べる実験を行い、報道にも公開した。結果は、路線バスは3分、貸切バスは5分程度で車内の空気が入れ替わった。このように安心して利用していただけることを、今後重点的にPRしたいと考えている。

タクシー事業者 タクシー事業者は、各事業者で状況は異なるが、5月に、最も影響があった事業者で、乗客が、対前年比で95%程度減少した。各事業者を平均しても、50%程度は減少している。7月は少し改善したが、8月は全国的に感染者が増えたこともあり、再び悪化した。9、10月は、平均して75%程度(25%程度減少)になってきている。令和3年からは、例年の80%程度(20%程度減少)を見込んでいる。ビジネス客や、観光客などが減少しているため、その影響を受けると予測している。

感染防止対策は、各事業者でそれぞれ異なるが、基本的には、前席と後席の間にシールドを設置し、一部の車両ではオゾン殺菌も実施している。点呼のときには運転士の体調管理を行い、運行中は可能な限り窓を開放し、換気している。

鉄道事業者 4、5月が特に落ち込みがひどく、乗客が80%程度減少した。最近は「GoToトラベル」の利用や、出張等での利用が増えてきている。

中長距離利用では、現在も40～50%程度、乗客が減少していて、近距離利用では、通学利用については戻ってきているが、通勤利用は戻っておらず、30～40%程度減少している。まだ元の状況に戻るには時間がかかると感じている。

感染防止対策として、社員全員にマスクの着用、こまめな手洗い、換気とソーシャルディスタンスをとるようにしている。また、利用客がよく触れるところは、アルコール消毒を行っている。利用客にはマスクの着用と会話を控えめにするようお願いしている。新幹線の乗客には、座席の回転を遠慮するようにお願いしている。

航路事業者 野島小中学校の休校に併せて、釣り客等には利用自粛をお願いしたこともあり、4、5月は乗客が少なかった。9月中旬から少しずつ回復してきた。10月中旬から、徐々に釣り客の利用や、通院、買い物のための島民の利用も増えてきた。10月末にはほぼ回復したように感じている。

感染防止対策として、乗船前の検温、マスク着用を呼び掛けている。密を避けるため、野島小中学生の優先シートを普段の倍にし、騒がないようお願いしている。一般乗客にも間隔を空けて座ってもらうようお願いしている。停船中は、ドア、窓を開放し、換気に努めている。運行中は窓を開放できないので、空気清浄器を設置している。

閉 会

---